



「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた授業改善（国語編）

今回のCOMPASSでは、国語科における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた授業実践例を紹介します。

学力向上を図るための授業改善の参考にしてください。



授業をしていて、「Aさんは意欲的に取り組んでいたけれど、Bさんは難しい顔をしていたな…」と感じたことはないでしょうか。本来、多様な子供たちが通う教室において、児童生徒が学びを実感できる授業は一人一人違うものです。

では、学習特性や興味関心を踏まえながら、どのように授業を進めればよいのでしょうか。

児童生徒一人一人が学びを実感できる授業

ポイントを2点に絞って考えてみます。

- ①児童生徒が主体的に学習を調整できるような場面を設定すること。
- ②単元をベースとした授業づくりをすること。

単元という一定のまとまりの中で「個別最適な学び」と「協働的な学び」の場面を設定します。児童生徒が主体的に学ぶ上で効果的なものとなるよう、意図をもって計画することが大切です。



児童生徒の主体的な学びを促す、指導のポイント

Aさんは順調そうだな…。

おや、Bさんの手が止まっているぞ。原因は何だろう。…書き出しに困っているのか！
それなら——……。

①個別最適な支援を考え、実行する

②協働的な学びを促進させるような助言をする

Cさんが話の流れについていけないようだ。よし、グループ全員に質問して、みんなの答えを参考に話し合いの内容を理解させられないかな？



★ワークスペース：個別最適な学び・協働的な学びの場面を書き出してみよう★

①単元名は？

③児童生徒はどんな学習（言語活動）をする？

②何時間展開？

小学校 リテラチャーサークル編

リテラチャーサークルとは、一人一人の気づきや感動を交流する読書会の方法です。少人数のグループで、個々に決められた「役割」（読みの視点）で読み進めていき、「読みの役割」に基づいて交流することで、読む力を高めていきます。この活動により、視点を明確にして読み進めることができ、主体的な読書活動につながっていくことが期待できます。

【リテラチャーサークルの基本的な学習活動の進め方】

- ① 読みたい本・話を一つ選び、3～5名のグループを作る。
- ② 「読みの役割」を決める（係名は、いろいろ考えられます）。
 - **思い出し係**・・・自分とのつながりを見つける
 - **質問係**・・・疑問を見つける
 - **ここいいね係**・・・心に残ったところやよい表現を見つける
 - **イラスト係**・・・好きな場面をイラストにする
- ③ 自分の「読みの役割」で本・話を読む。
- ④ 「読みの役割」に基づいて、グループで話し合う。
- ⑤ ②～④を何回か繰り返す（違う役割にもチャレンジする）。

子供は読みの役割での「学習の個性化」が期待でき、自分事として読み進められる。また、その子に合わせた「指導の個別化」が必要となる。



私は質問係。疑問に思ったことを、ワークシートに書き留めよう！

自分の役割で読み進めたことを交流する。協働的な学びにより読みが広がり深められる。

ぼくは「ここいいね係」。心に残ったところは...

なるほど！



個の活動と協働的な活動を繰り返すことにより、読みの広がりや深まり、読書の楽しさを実感することができる。

中学校 古典の脚本を作ろう編

より具体的な単元の流れは、HP掲載の課題別アイデア例（枕草子）を御覧ください。



県総合教育センター教育コンテンツデータベース「Wakaba」をご覧ください。



学習活動／教師の指導

- 1 学習の見通しをもつ。
 - ・興味関心を高める教材との出会いを設定する。
 - ・言語活動のゴールと見本を示し、学習活動の明確化を図る。
- 2 個々に教材を選び、脚本を作る。
 - ・気に入ったものを選ぶよう、実態に合わせて章段を提示する。
 - ・生徒が個別、協働の場面を行き来しながら学習を進める中で、適宜、適切な支援をする。
- 3 表現物を共有し、古典に親しむ。作った脚本で実際に演じてみる。

